



「江の島棧橋」が完成

海上タクシード28日運航開始

「海洋ツーリズム」を展開し、2年間かけて棧橋を整

備した。
28日からは民間の事業者が定期ダイヤによる海上タクシードやチャータークルーズなどを運航する。県の担当課は当面は予約制だが、将来的には予約なしで乗れるように需要と人気を高めたい」と話した。

県が藤沢市江の島の湘南港に整備していた「SHONAN江の島棧橋」が完成し、25日に式典が開催された。28日からは同棧橋と大磯港(大磯町)やリビエラ(逗子市)やリビエラ(逗子市)、葉山マリーナ(葉山町)などこの海上タクシードが運航される。
小雨の中で開かれた式典で、黒岩知事は「工事中に完成した棧橋からクルーズ船に乗り込む黒岩知事ら(25日、藤沢市江の島)」

湘南港の係留施設開業

黒岩知事「新たな観光の核に」

2024.3.26 日経
神奈川県は25日、湘南港(神奈川県藤沢市)に完成した係留施設「SHONAN江の島棧橋」の開業を記念してセレモニーを開催した。江の島を拠点に大磯や葉山、逗子といった人気観光地に海上タクシードで行き来

できるようになる。式典に参加した黒岩知事は「富士山や海から望む湘南の景観が素晴らしい。海上輸送ルートの充てんまでには1日3便。大人1人3000円で事前予約制。大磯港は毎月第3日曜の大磯市が開業される日のみ1日2便運航

する。
価格は大人1人5000円。海上タクシードは貸し切り利用もでき、葉山港まで往復で5万円(片道20分)、江の島を90分周遊する場合は1艇2万5000円から。
江の島は若者からインバウンド(訪日外国人)まで人気の観光地だが、週末などは混雑によるオナーツーリズムが課題となっている。海上交通の選択肢を設け、新しい観光の魅力を高めるとともに相模湾沿岸の回遊性を高める狙い。

海の観光交通拠点に

藤沢市の湘南港に係留施設「SHONAN江の島棧橋」が完成し、25日に現地で記念セレモニーが開かれた。28日からは相模湾を行き来する海上交通の運航が始まる。
県は、海からの景観と相模湾沿岸の観光資源を活用し、湘南川(海)に観光客を呼び込む「海洋ツーリズム」を展開。その拠点と位置付ける江の島棧橋の整備

28日から運航開始

28日から始まる海上交通は、湘南港を基点に大磯港やリビエラ(逗子市)やリビエラ(逗子市)、葉山マリーナ(葉山町)などを結ぶ。小型クルーズ船によるチャータークルーズがある。いずれも事前予約制。観光のほか、海上移動手段としての利用が期待される。
黒岩知事は「海から見た湘南や鎌倉は素晴らしい。海上輸送ルートを充実させて新たな観光の核にした」と期待感を表明。この後、藤沢市の鈴木恒夫市長ら関係者と棧橋から大型クルーズ船に乗り、茅ヶ崎海岸沖合にある鳥帽子岩までのクルージングを楽しんだ。

藤沢の湘南港「江の島棧橋」完成



「SHONAN江の島棧橋のオープン」を記念してテープカットする黒岩知事(右から3人目)ら関係者(藤沢市)

「SHONAN江の島棧橋のオープン」を記念してテープカットする黒岩知事(右から3人目)ら関係者(藤沢市)